

CL-5-Ⅲ-01	病院・薬局実務実習	第5学年	前・後期 必修	20単位
担当者	実務実習委員会			
一般目標 (GIO)	病院実習: 病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。 薬局実習: 薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する。			
到達目標 (SBOs)	実務実習は、実務実習モデル・コアカリキュラムに従って行われる。			
受講心得・準備学習等	医療の現場であることを認識し、態度、言葉使い、服装に注意するとともに守秘義務を常に忘れないこと。指導者の指示に従い、本学の代表として参加しているという意識と積極的な態度をもって実習にあたって欲しい。遅刻や欠席は厳禁。場合によっては実習継続を拒絶されることもある。			
事後学習・復習等	病院及び薬局で学んできた知識・技能・態度についてよく復習し、医療チームの一員としての薬剤師の職能、役割及び責任の重要性をよく理解する。			
オフィスアワー	金曜日午後			

授業の形式と各回の内容【病院実習】

授業の形式		実習形式 (実務実習モデル・コアカリキュラム準拠)	
回	項目	内容	SBOコード
1	病院調剤を実践する	調剤の流れ・処方せんの形式と記載方法・処方せん監査・調剤実技・監査・服薬説明・リスクマネジメント	D2(1)-1~49
2	医薬品を動かす・確保する	医薬品のながれ・管理と保存・医薬品の採用・削除	D2(2)-1~14
3	情報を正しく使う	情報の入手・情報の評価・加工・質疑応答	D2(3)-1~11
4	ベッドサイドで学ぶ	病棟業務とチーム医療・薬剤管理指導業務	D2(4)-1~24
5	薬剤を造る・調べる	製剤・薬物モニタリング	D2(5)-1~4
6	医療人としての薬剤師	医療人としての薬剤師	D2(6)-1~6

授業の形式と各回の内容【薬局実習】

授業の形式		実習形式 (実務実習モデル・コアカリキュラム準拠)	
回	項目	内容	SBOコード
1	薬局アイテムと管理	薬局アイテムの管理と保存・薬局製剤・薬局製剤・特別な配慮を要する医薬品	D3(1)-1~11
2	情報のアクセスと活用	薬剤師の心構え・情報の入手と加工・情報の提供	D3(2)-1~12
3	薬局調剤を実践する	処方せんの受付・監査・疑義照会・計数計量調剤と監査・服薬指導の基礎・入門・実践実習・調剤録と処方せんの保管管理・調剤報酬・安全対策	D3(3)-1~63
4	薬局カウンターで学ぶ	患者との対話と接遇・OTC・医療用具・健康食品	D3(4)-1~10
5	地域で活躍する薬剤師	在宅医療・地域医療・地域福祉・災害時医療と薬剤師	D3(5)-1~15
6	薬局業務を総合的に学ぶ	薬局業務を総合的に学ぶ	D3(6)-1~3

成績評価の方法	総括的評価は、病院実習及び薬局実習の2つのコースが終了したときに行う。病院及び薬局では実務実習の到達度を測定し、指導薬剤師の判断した結果として評点をつける。最終的な成績評価は、提出された実務実習記録、実務実習態度、評価項目別評価表等をもとに行う。
成績評価の基準	3段階評価の2以上を合格とする
教科書	
参考書など	浦部晶夫ら編集「今日の治療薬」(南江堂) 日本薬剤師会「調剤指針 第13改訂」(薬事日報社)